

2020年度（令和2年度）
豊中市立環境交流センター
事業報告書

特定非営利活動法人

とよなか市民環境会議アジェンダ 21

<目次>

1. 全体のまとめ	2
2. 施設の維持管理・運営体制	3
3. 管理運営業務の実施状況	10
(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供	10
(2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供	21
(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施	29
(4) 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供	42
(5) その他	44
4. 施設の利用状況	47
5. 指定管理業務に係る経費の収支状況	51
6. 自主事業の実施状況	53
7. 自主事業の経費の収支状況	56

【報告書内の表記について】

- ・参加者数に当団体の職員は含んでいません（注釈のある場合を除く）。
- ・当団体の会員とは、当団体で活動するボランティアの市民を意味しています。
- ・「3. 管理運営業務の実施状況」内の丸番号は、事業計画時の丸番号と一致しています。
そのため、事業計画に記載のなかった内容は、○としています。
- ・「6. 自主事業の実施状況」内の丸番号は、事業計画時の丸番号と一致していません。
- ・当団体の会計報告は、NPO法の改正に伴い、活動決算書（活動計算書）となっているため、自主事業の経費の収支状況はそれに従って記載しています。
- ・ただし、指定管理業務の経費の収支状況は、表題から当団体の活動計算書と意味が異なるため、収支決算書と記載しています。

1. 全体のまとめ

環境交流センター（以下、「センター」という）は、2018年度から第2期の5年間でスタートし、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21（以下、「当団体」という）が指定管理者として引き続き運営を担いました。

当団体は、「豊中市環境基本計画」と車の両輪のように位置づけられている、地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「豊中アジェンダ21」を推進する組織として、豊中市域における持続可能な地域の実現をめざして、市民が主体となり、行政・事業者と連携して活動を行っています。センターの事業目的は、当団体が推進する「豊中アジェンダ21」の内容と一致するところであり、センターの運営を通して、「第3次豊中市環境基本計画」と「第3次豊中アジェンダ21」が共有する「望ましい環境都市像」の実現、および「第3次豊中アジェンダ21」の80項目の行動提案の達成をめざして、センターの管理・運営を行ってきました。

実施に際しては、リサイクル交流センターと環境情報サロンの機能統合という経過を踏まえ、市民や市民団体の集う場（環境プラットフォーム）として、市民が参加・参画した形での運営を行いました。さらに、環境活動に関心のある市民はもとより、環境問題に関心のない市民も気軽に立ち寄ることのできる場づくりの実施、および、多様な分野との連携もめざしました。センターの事業の一部は、当団体の各部会・プロジェクトのメンバー（ボランティアの市民）が中心となって企画・実施を行い、市民が市民に対して普及・啓発を行いました。

こうした中で、第2期の5年間は、「誰もが集える交流空間から」「気づきから実践に向けて」「地域と共に歩む施設へ」という3つのコンセプトを掲げ、以下のビジョンの達成をめざすこととしました。

「環境」は、家庭や地域、社会での生活そのものであり、生きていく中で必要不可欠なことである。そのことに気づき、自ら行動できる人を育てることや支えることで、地域で活動が実践されたり、「環境」への理解が広がる。

2013年度からの第1期は、多くの市民の利用者に対して「種をまく」期間であったのに対し、第2期は、まいた種を「いかに育てて・つないでいくか」という期間と位置づけました。種を育てていくにあたり、“環境＝家庭や社会での生活そのものであることを気づいてほしい”“気づいたことを周りに伝えてほしい”“学んだことが地域に広がってほしい”という考えのもと、各事業に取り組みました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、施設の臨時休館や行事の中止、貸室の条件付き利用などがあり、例年とは異なる制約の中での事業実施となりました。そこで、事業の着手の度合いを4つに分類し、着手できるものから順に取り組んだ結果、実施方法の変更や規模の縮小などはあったものの、大半の事業を実施することができました。また、おしゃべり交流カフェ、とよなかシネコンといった新たなイベントの開催も行いました。また、講座で講師・出演者・参加者がオンラインで参加をしたり、講演会をYouTubeでオンライン配信するなど、オンラインの取組みも進みました。

2020年度の来場者数は9,822人、稼働率は65.0%（実績値）、自然観察会やぴったんこ隊 miniなどのセンター外での取組みに対し、399人の参加がありました。いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、2019年度の値よりも減少する結果となりました。

2. 施設の維持管理・運営体制

(1) 施設概要

- ・施設名 豊中市立環境交流センター
- ・所在地 豊中市中桜塚1丁目24番20号
- ・施設規模 床面積 658.97 m²
- ・開館時間 9時～17時
- ・休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
12月29日～1月3日
- ・貸室区分 9時～12時、13時～17時
- ・受付開始 目的利用：使用日3ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
目的外利用：使用日1ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
- ・貸室 会議室1、会議室2、展示スペース（会議室1はABCの3つに分けることができる）

(2) 開館日数、および臨時休館

①開館日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
日数	0日	0日	25日	27日	26日	26日	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	27日	25日	24日	24日	24日	26日	254日

※臨時休館中に貸室の条件付き利用を行った日は日数に含んでいない

②臨時休館

期間	内容
4月1日（水）～5月31日（日）全日	新型コロナウイルス感染拡大予防に伴うもの

(3) 内規の更新

施設の運営や事業に関連して、内規の更新を行いました。

【更新した内規】

- ・「豊中市立環境交流センターファンクラブメンバー制度の運用に係る内規」（7月1日付）

(4) 運営体制

①職員

総括責任者1人、職務代理者2人（以上3人が常勤）、非常勤職員3人（うち1人は6月から出産休暇・育児休暇を取得）でセンターの運営にあたりました。

②担当理事

センターの運営と当団体の活動がうまくリンクするため、および、運営に関する当団体の意思決定を円滑に進めるため、当団体理事の中から担当理事5人（理事職の総括責任者含む）を選出し、担当理事会を6回開催しました。

月日	5月22日（金）	6月23日（火）	7月31日（金）	
参加者数	8人	6人	7人	
月日	9月4日（金）	11月4日（水）	12月10日（木）	合計
参加者数	6人	6人	7人	40人

※参加者数には同席した当団体職員も含む

③研修の実施

職員の能力向上、および施設運営に必要な知識を得るため、研修計画に基づき、研修の参加・実施を行いました。また、職員が自主的に受講する研修や、職員が講師となるための知識や技能を伝達するための研修も実施しました。

日時	内容	会場	研修の種類	参加者数
5月28日(木) 9:30~10:15	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	4人
7月16日(木) 14:00~15:00	エコプラザカレッジ「今さら聞けないSDGs」Web講座	環境交流センター (オンライン)	自主的に受講する研修	1人
7月30日(木) 10:00~12:00	施設予約システム職員向け研修会	くらしかん	基礎的な研修	2人
9月17日(木) 15:00~16:30	令和2年度人権問題事業者学習会	環境交流センター (オンライン)	人権に関する研修	2人
9月24日(木) 13:30~16:30	中小企業にとってのSDGsについて Web講座	環境交流センター (オンライン)	自主的に受講する研修	1人
12月25日(金) 13:15~15:30	家庭菜園するみたいにベランダで太陽光発電しよう(1回目 電気やエネルギーを知ろう)	環境交流センター (オンライン)	自主的に受講する研修	1人
1月8日(金) 13:15~15:30	家庭菜園するみたいにベランダで太陽光発電しよう(2回目 省エネを知ろう)	環境交流センター (オンライン)	自主的に受講する研修	1人
2月15日(月) 9:30~10:30	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	5人
合計		8回		17人

※センター運営にあたった当団体職員の中の参加人数

(参考) 研修の種類別の実施回数・人数

種類	回数	延べ人数
(1) 人権に関する研修	1回	2人
(2) 基礎的な研修	3回	11人
(3) 専門的な研修	0回	0人
(4) 自主的に受講する研修	4回	4人
(5) 資格取得に関する研修	0回	0人
合計	8回	17人

④職員との意見交換

職員の働き方や職場環境の改善に向けて、当団体の理事長・副理事長を含む役員グループが職員参加による意見交換(4回)を実施しました。また、理事長・副理事長による各職員との面談を行いました。

職員との面談：2月24日(水)~28日(日)

職員参加の意見交換：8月3日(月)、10月26日(月)、12月4日(月)、2月15日(月)

(5) 運営会議

業務の状況報告やモニタリング、管理運営の検討などを行うため、当団体職員と環境政策課で運営会議を環境交流センターにて毎月実施しました。

実施日	4月21日(火)	5月19日(火)	6月18日(木)	7月21日(火)
	8月25日(火)	9月15日(火)	10月20日(火)	11月19日(木)
	12月11日(金)	1月26日(火)	2月25日(木)	3月16日(火)

※当団体職員、環境政策課ともに2人ずつが出席

(6) 来場者アンケート

施設利用者に対するサービス改善、および指定管理者のモニタリング事項として、来場者アンケートを実施しました。結果については、別途提出した報告書の通りです。なお、毎年100枚以上の回収を目標としていますが、緊急事態宣言の発令に伴い、貸室の利用中止やイベントへの参加の自粛などがあったため、目標枚数に至りませんでした。

- ・期間：2月10日(水)～3月11日(木)

※当初は3月3日(水)までの予定であったが、期間を延長

- ・対象：センターに来場した高校生以上の方
- ・回収数：79枚(目標数100枚)

※1人で2枚回答した人がいたため、アンケート結果は78人分となる

- ・実施方法：受付への設置、および来場者への配布
- ・その他：回答者の中から抽選で10人に図書カード(500円)を進呈

2020年度は中学生以下を対象とした簡易なこどもアンケートは実施せず

(7) 設備点検・維持、および修繕

①設備の点検・維持(定期)

- ・床のワックスがけ(年3回)
- ・床のワックス剥離(年1回)…会議室2、図書資料室、給湯室、事務室を実施
- ・空調設備の点検(年4回)…業者による点検2回、職員による簡易点検2回
- ・自動扉の点検(年4回)
- ・消防設備の点検(年2回)
- ・屋根上の点検(年2回)…空調設備の簡易点検とあわせて実施

②設備や備品の修繕・追加

月日	内容
7月28日(火)	倉庫等の雨漏り修繕(外壁の修繕)
3月29日(月)	自動扉の飛散防止フィルム貼り換え工事(4面)
3月31日(水)	会議室1B・1C LAN受口の修理

③施設の維持

月日	内容
5月23日(土)	裏庭の草抜き
5月31日(日)	裏庭の草抜き
6月10日(水)	屋根上の雨といの清掃
6月24日(水)	裏庭の枝の剪定

8月25日(火)	施設前のタイル清掃
8月27日(水)	施設前のタイル清掃
9月2日(水)	裏庭の草抜き

④その他

月日	内容	備考
7月4日(土)	倉庫の床が水浸しになっているのを確認。	工務店が現場を点検し、晴れたら屋根を点検することを確認
7月7日(火)	再び倉庫の床が水浸しになっており、壁の下側から雨がにじみ出ているのを確認。	降雨時に雨水タンクのといがオーバーフローし、その雨水が壁面に当たっているのが原因と思われ、壁面の亀裂部分を埋め、雨水タンクのパイプ詰まりを修繕。
7月11日(土)	男子トイレの壁紙や手洗い、小便器などに多数のカビが発生していることや、壁紙に著しい湿気があることを確認。	カビは清掃にて除去。湿気は工務店が確認したが、具体的な原因の解決には至らなかった
10月3日(土)	施設前の柱のタイルが浮き上がっているのを発見。	工務店が現場を点検し、環境政策課へ現状や今後の方向性を報告。
10月28日(水)	公共施設利用予約システムの導入に向けた、豊中市ネットワークへ接続のための回線工事の実施。	デジタル戦略課により実施

(8) 安全管理対策の状況

①安全管理マニュアル

当団体の職員、および会員が生命身体に危険を及ぼす可能性のある作業を行う際の留意事項をまとめた「安全管理マニュアル」を作成・提出しました。同マニュアルは、当団体の職員全員、および該当する会員に配布するとともに、事務室や倉庫などの目立つ場所に掲示しました。

なお、安全管理マニュアルに該当する作業による怪我や事故はありませんでした。

②緊急時のマニュアル

急病・けが、交通事故、地震、不審者・不審物、火災、警報といった緊急時の対応をまとめたマニュアルを整備しています。

なお、2020年度中に該当する対応はありませんでした。

③賠償責任保険、行事保険

センターの来場者への責任を果たすため、賠償責任保険に加入しました。また、屋外で実施するイベントのうち、参加者が負傷する可能性があると思われる行事に対し、行事保険に加入しました。

なお、2020年度中にはいずれの保険も執行はありませんでした。

④新型コロナウイルス感染拡大予防に関する対応

【施設運営における主な対策】

- ・大阪コロナ追跡システムのQRコードの設置（施設の常設用）
- ・施設利用者向けの掲示

- ・アルコール消毒液の設置
- ・受付周辺の対策
 - 飛沫防止対策のビニール設置
 - お金の受け渡しはプラスチック製のトレーを利用
 - 受付備品や販売物の一部は受付内で管理し、必要な物だけをお渡しする
- ・換気の実施
 - ※2020年11月からは熱交換換気扇による換気へ変更
- ・消毒の実施
- ・貸室の机は事前に職員が設置し、その配置で利用してもらう（貸室の定員が半数の場合のみ）

【行事における主な対策】

- ・定員の見直し
- ・会場内での距離の確保
- ・検温の実施やアルコール消毒液の設置
- ・参加者名簿の作成（参加者受付のある行事）
- ・大阪コロナ追跡システムのQRコードの設置（参加者受付のない行事）
- ・出入口の一方通行（地域こだわりマルシェ&野菜市場）
- ・透明な衝立の設置（対面する場合）

【施設利用者へのお願い】

- ・熱があるなど体調の優れない方はご欠席（ご帰宅）いただくこと
- ・マスクの着用など、咳エチケットを徹底すること
- ・手指のアルコール消毒か、手洗いをすること
- ・大声での会話、握手などの相互接触をしないこと
- ・参加者全員の名前や連絡先を責任者が取りまとめ、施設管理者へ提示すること（貸室利用者）

【主な経過】

月日	内容
4月2日（木）	環境政策課から臨時休館を「当面の間」継続するように通知があった。
4月3日（金）	環境政策課から臨時休館を5月6日までとするものの通知があった。
4月8日（水）	緊急事態宣言の発令に伴い、屋外イベントについても中止するように環境政策課から通知があった。あわせて、可能な範囲で在宅勤務を行うことの要請もあった。
4月9日（木）	職員の出勤の一部を減らすことを開始。
4月14日（火）	職員の出勤人数について、従来同様、少なくとも2人体制は維持することを環境政策課と確認。
5月1日（金）	環境政策課から臨時休館を5月10日まで継続するように通知があった。
5月5日（祝）	環境政策課から臨時休館を5月31日までとするものの通知があった。
5月15日（金）	環境政策課から臨時休館は継続するものの、会議目的の利用に限り、貸室を再開することの通知があった。開始日について、19日（火）からとすることを確認。
5月22日（金）	環境政策課から5月末までを「新型コロナウイルス感染予防徹底期間」とし、臨時休館を継続することの通知があった。
5月26日（火）	施設の再開に向けて、貸室の利用条件の資料について環境政策課と確認を開始。
10月22日（木）	環境政策課より11月から会議室の定員を元に戻す旨の通知があった。

12月4日(金)	12月15日までの貸室利用のうち、新型コロナウイルスを理由とした目的外のキャンセルは全額返金する旨を環境政策課から通知があった。
12月15日(火)	12月4日の通知は年内まで延長する旨を環境政策課から通知があった。
1月13日(水)	緊急事態宣言の発令に伴い、貸室の定員を半数にすると環境政策課から通知があった。
3月3日(水)	緊急事態宣言の解除に伴い、貸室の定員を元に戻すと環境政策課から通知があった。

※行事の申込者、貸室の利用者、一般の問合せ、広報や掲出関係の対応等は記載せず

(9) クレーム・課題点

センターの運営の中で、確認された課題点について、適切に対応・改善しています。なお、2020年度は特筆すべきクレームはありませんでした。

(10) 覚書の取り交わし

センターの運営に関する環境政策課と当団体の協議を踏まえて、円滑な施設運営をめざして、管理運営業務の仕様変更に関する覚書の取り交わしを行いました。

月日	内容
4月1日付	Ⅲ 地球環境の保全等の推進に関する業務 5 その他「(3) 情報収集用パソコンの管理」の削除

(11) 申出書の提出に伴う意見交換

当団体は、豊中市の指定管理者制度の運用において、総合的な調整機能に課題があり、それにより指定管理者の団体間で不公平・不平等が生まれる結果になっていると考えており、制度の見直しを含めた課題解決の取組みを進めていただくように、2020年2月4日付で豊中市長宛に申出書を提出しました。

この内容について、6月3日(水)に豊中市創造改革課、および環境政策課と、当団体において、申出書の内容について意見交換を行いました。

(12) 指定管理者選定評価委員会への対応

豊中市が実施する指定管理者選定評価委員会に対して、以下の対応を行いました。

月日	内容
7月2日(木)	提出が必要な書類やスケジュール等について、豊中市から説明を受ける
7月30日(木)	書類審査のため必要な書類を豊中市へ提出
8月5日(水)	社会保険労務士による事前確認に対して、労務書類の提示
9月3日(木)	面接審査でのプレゼンテーション、質疑応答
10月22日(木)	評価結果報告書について、豊中市から説明を受ける
3月31日(水)	評価結果に対する改善状況について報告

(13) 定期監査への対応

豊中市が実施する定期監査に対して、以下の対応を行いました。

月日	内容
12月25日(金)	豊中市から定期監査の実施についての通知
1月5日(火)	豊中市から予備監査の日程と、定期監査に必要な提出書類の連絡
1月20日(水)	定期監査に必要な書類の提出
2月3日(水)	豊中市から監査の項目について連絡
2月5日(金)	監査委員事務局による予備監査に対して、監査対象書類の提示
3月2日(火)	定期監査(本監査)への出席(豊中市役所)

(14) その他

①警察からの要請に対する協力

月日	内容
6月11日(木)	豊中警察署から、捜査の一環で施設前の道路の様子について、防犯カメラの映像確認の依頼があった。求めておられるのが深夜の時間帯であり、真っ暗でほとんど何もわからなかったため、映像の提供などには至らなかった。
7月2日(木)	集いの広場前の道路にて交通事故があり、警察が現場検証を行う際、事故車両を一時的に駐輪場へ移動させて、関係者の聴取を駐輪場で実施した。なお、それらを行う前に警察から駐輪場の使用の要請があったので、使用を了解した。
11月3日(祝)	警官が「この近くでご老人が倒れていなかったか」とたずねて来られたが、そうしたこと見聞きしていなかったため、その旨を伝えた。
11月26日(木)	豊中警察署の方が来られて、豊中市内で振り込め詐欺が増えており、注意喚起のチラシの配架と掲示を希望されたため、持参されたチラシの配架と掲示を行った。

②施設周辺や集いの広場に関する対応等

月日	内容	対応
6月30日(火)	16時頃、センター前の道路の岡町側の横断歩道付近で交通事故と思われる事態が発生し、警察車両等が来て、施設前で道路を通行止めにした。	閉館前で来館者もいなかったことから、特に支障はなかった(実際に何らかの対応をすることはなかった)。
7月24日(祝)	来場者から、施設付近の歩道でカラスの死骸を見つけたがどこへ連絡してよいかわからないとのことであった	豊中市立火葬場へ連絡し、処理をしてもらった。
7月24日(祝)	施設の向かいのマンションで人が倒れていると通行人から受付へ声かけがあったため、職員が現場へ確認に行くと、年配の女性が足の痛みで起き上がれず倒れていた。	すでに他の通行人が救急車を呼んだ後であった(実際に何らかの対応をすることはなかった)。

3. 管理運営業務の実施状況

(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供

センターは日常的に人が訪れて、交流し、にぎわいがある場となることをめざして、日常的な取組み、行事など特定の日の取組みを複合的に実施し、多様な場づくりを行いました。

①ファンクラブ制度の運用

2014年4月から、センターに愛着を感じて応援してもらうファンクラブ制度の運用を開始しました。センターの取組みに協力していただける市民の方を登録し、メンバー証の発行、メールマガジンの配信、メンバー限定特典の提供などを行いました。2019年度末の登録者数637人に、新規登録と退会をあわせた2020年度末の登録者数は662人（大人メンバー531人、ジュニアメンバー131人）でした。

ファンクラブ制度では、ファンクラブメンバーが地域での活動の担い手となっていくことをめざしています。そこで、2020年度はメンバー向けのお楽しみイベントであるファンクラブ交流会を実施せず、かわりにセンター内でのボランティア活動に向けて、メンバーが交流できる場（おしゃべり交流カフェ）を3回実施しました。

【ファンクラブの登録者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規登録	—	—	0	0	6	3	2	6	4	3	3	9	36人
退会	1	0	1	1	1	0	2	3	0	2	0	0	11人

※4・5月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、新規登録なし

【メールマガジンの配信数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
配信数	265	264	263	261	263	265	266	267	270	270	272	274

※4月は月に2回配信（配信数が重複する場合は2回目の配信数）

【ファンクラブ対象の行事】

日時	内容	参加者数
8月28日（金）10:00～11:30	おしゃべり交流カフェ	9人
12月20日（日）14:00～15:30	おしゃべり交流カフェ	8人
2月12日（金）10:00～11:30	おしゃべり交流カフェ	13人
合計	3回	30人

※参加者数は当団体の会員を含む



<成果や工夫したこと>

- ・おしゃべり交流カフェでは、2019 年度に中止となった「環境ボランティア」をテーマとした開催を行うとともに、ファンクラブ交流会の代替として子ども向け企画も実施しました。
- ・おしゃべり交流カフェでは、当団体で活動するボランティアメンバーが参加し、ボランティアの生の声を紹介することで、環境ボランティアへの参加を呼びかけました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・臨時休館や行事の中止などにより、ファンクラブの新規登録は 2019 年度の 68 件から、約半数の 36 件へと減少しました。多くの市民にセンターへの愛着を持ってもらうための運用方法などについて検討していきます。
- ・おしゃべり交流カフェの中で、センターを活用して何かやってみたいという声があったため、次年度以降にファンクラブメンバーが企画・実施する取組みを試行することで、地域での活動の担い手となっていくことをめざしていきます。

②ポイントカードの配布

ファンクラブメンバーを対象にポイントカードを配布し、センターの利用や行事の参加などに応じてポイントを付与し、ポイントが貯まれば景品を進呈しています。また、ジュニア（子ども）向けのポイントカードは、2018 年度から新たな仕組みで運用しています。ポイントカードについて、2020 年度中（6 月以降）の景品の交換数は 32 件でした。

また、2020 年 7 月にファンクラブ制度の内規の更新により、中学校の卒業以降は大人メンバーとしたことから、2020 年 7 月に大人メンバーへ切り替わるジュニアメンバー 19 人、2021 年度から新たに大人メンバーへと切り替わるジュニアメンバー 16 人（両方の合計 35 人）に対して、2020 年度中に対象者へ大人メンバーのポイントカードを送付しました。



<成果や工夫したこと>

- ・ポイントをもらえる行動やポイントカードのデザインなどから、高校生は大人メンバーの方が望ましいと判断し、内規の更新を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・景品の交換数は 2019 年度の 67 件から半分以下まで減少しました。展示スペースの机やキッズコーナーを開放していないことによる小学生の来場の大幅な減少が要因の 1 つと考えられます。

③陶器とりかえコーナー

家庭で使わなくなった陶器を回収・展示し、希望する来場者が自由に持ち帰ることができるようにしました。赤ちゃんからの ESD が実施している「陶器とりかえ隊」の常設コーナーとして、当団体が日常的な管理や、とりかえの対応を行いました。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、6月の施設再開以降は中止とし、9月から日時を限って持ち込み分を受け入れました。

また、2018年度から豊中市伊丹市クリーンランドの事業として、陶器を回収してリサイクルする事業（実証実験）に協力し、やむなく廃棄していた、とりかえできない陶器をクリーンランドへ提供していましたが、この実証実験が2020年11月末をもって終了となりました。2020年度は実証実験の期間中に1回の回収ができました。



<成果や工夫したこと>

- ・9月からの再開後は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、回収した陶器をすべてアルコール消毒してから展示しました。また、展示場所では、陶器に触れる前に手指の消毒をするなどの協力を呼びかける掲示をしました。
- ・陶器の回収日については、センターのお知らせに掲載し、センターのホームページでも確認できるようしました。
- ・以前は陶器の持ち込みを常時受付しており、職員の業務がしばしば中断していましたが、持ち込み日を限ったことで、職員も持ち込み日に集中して対応することになり、業務効率の改善につながりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・回収日を決めて受け入れしていることを知らないまま持ち込まれる方も多いため、これまで以上にPRしていく必要があります。

④フリースペース・キッズコーナー・エコゲーム

展示スペースにテーブル・イスを設置して貸室利用がない時に予約なしに利用できるフリースペースと、子どもが靴を脱いで遊べるスペース（キッズコーナー）を設けています。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、テーブルやキッズコーナーの設置を行いませんでした。9月以降はイスのみを一部に設置し、使用方法などを限定して運用しました。

また、テーブルやキッズコーナーの設置がなかったことや、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、エコゲームの貸出しは行いませんでした。



<成果や工夫したこと>

- ・イスのみを一部に設置したことで、来場者が休憩することができる最低限の場所を確保することができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・テーブルやキッズスペースを設置していないため、2020年度は子どもたちの来場が大幅に減少しました。テーブルやキッズスペースをいつまでも撤去したままというわけにはいかないため、再開の時期や再開後の運用方法について検討していく必要があります。

⑥リサイクル工作

家庭の不用品や身近な材料を利用し、暮らしを便利にするような手作り工作を行いました。なお、新型コロナウイルス感染拡大予防による中止があり、工作は3回の実施となりました。

日時	内容	講師	参加者数
5月23日（土） 10:00～11:30	ミニティッシュケースを作ろう	安田寿江さん（ワークショップファシリテーター）	中止
8月21日（金） 10:30～11:00 11:30～12:00 14:00～14:30 15:00～15:30	紙すきではがき作り	当団体職員	13人
10月22日（木） 10:00～11:30	新聞紙でエコバッグ作り	当団体職員	10人
3月19日（金） 10:00～12:00	玉ねぎ染めと玉ねぎはがき	当団体職員	10人
合計	3回		33人

※5月23日は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止



<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、紙すきでは同一世帯の家族ごとに実施する列や道具を分ける、玉ねぎ染めでは全員にゴム手袋を着用してもらうといった対策を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、通常よりも定員を限って募集しましたが、いずれもほぼ定員まで申し込みがありました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・新型コロナウイルス感染症への懸念から、外部講師にはすべて断られました。多様なプログラムの実施に向けて、講師の確保が課題です。

⑦リユースコーナー

豊中市伊丹市クリーンランドや豊中市家庭ごみ事業課と連携し、クリーンランドで回収したまだ使える家具や、豊中市臨時ごみリユース支援事業から提供を受けた家具などのリユース品を展示し、最終日に抽選会を行って、希望する市民へ提供しています。

2020年度は豊中市伊丹市クリーンランドの分のみ開催しました。豊中市臨時ごみリユース支援事業については、2019年度に展示期間の途中で中止となった分のみ、2020年4月に非公開で抽選を行い、6月の施設再開後に当選者への受け渡しを行いました。

期間	提供元	応募数	抽選会・抽選者	抽選方式
4月4日(土)～ 23日(木)	豊中市臨時ごみリユース支援事業	19点中10点 に合計17件	4月24日(金) 非公開 家庭ごみ事業課職員が抽選	抽選会の参加に関わらない
6月10日(水)～ 28日(日)	豊中市伊丹市クリーンランド	10点中9点 に合計17件	6月28日(日)14:00～ 参加者30人(スタッフ含む) クリーンランドが抽選	抽選会の参加に関わらない

※4月4日～23日は、2019年度(2020年3月)中止分の延長として予定したが、新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止(応募数は3月中の展示期間のもの)



<成果や工夫したこと>

- ・これまでは抽選会に出席した方が当選しやすくなる方法を採用していましたが、抽選会場の密集を避けるため、抽選会の出欠に関わらず、当選の条件は同じとなる運用へと変更しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・提供元の判断もあり、2020年度の実施は非常に限られました。来場者が密になる取組みではないため、今後も実施する方向で進めていきます。
- ・展示しているリユース品について、これまでは来場しないと内容がわからなかったことから、今後はセンターのホームページ等でも紹介をしていきます。

⑧リユースバザー

参加する市民を募集し、家庭で使わなくなった衣服や生活用品を安く販売するリユースバザーを開催しています。地域こだわりマルシェ&野菜市場と一緒に実施することで集客を確保するとともに、定期的に古本市や省エネ相談会を同時開催することで複合的なにぎわいを作り出すようにしています。

また、子どもが主体となったバザーの機会として、えこっ子フリマ(子ども店長による子どもの物品を販売するバザー)を親子ぐるぐるフェスにおいて実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、いずれの実施も中止としました。

【リユースバザー】

月日	特記事項
4月4日(土)	すでに応募があった方へ中止の連絡(2019年度中に連絡)
6月6日(土)	4月4日の応募分をスライドすることとし、その旨を応募者へ連絡していたが、5月中に中止の連絡
2021年 4月25日(日)	4月4日の応募分をスライドすることとし、その旨を3月中に応募者へ連絡(まん延防止等重点措置の発令により、2021年度に入ってから中止となる)

※従来は偶数月の第1土曜に開催しているため、2020年度の中止は6回となるが、そのうち、特記すべき分のみを記載

<成果や工夫したこと>

・中止となった回へ応募された方への配慮として、上記のように定期的に連絡を行いました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

・結果的に2020年度は1回も実施できませんでした。会場内や入場時に密集しないような方法を検討し、どのような条件下であれば開催することができるかを整理していく必要があります。

⑨親子フェスティバル

未就学児から小学生くらいの子どもと、その保護者を対象に、3Rの行動を通してモノと向き合い、モノを大切に作る習慣と、ごみの減量を意識した暮らしを考えるための参加・体験型イベント「親子ぐるぐるフェス」として開催しています。モノへの思いをメッセージカードに添えて次に使う人へ販売する「えこっ子フリマ」、制服・学用品の販売や絵本の交換会を通して出展者と参加者の交流をはかるとともに、他団体と連携して絵本の読み語りやリサイクル工作なども一緒に開催しています。

2020年度は1月に開催を予定し、絵本の交換会で使用する絵本について、期間を設けて回収を行いました。しかし、緊急事態宣言の発令により、施設の定員が半数へと変更になり、予定していた内容の実施が難しくなったため、中止としました。

日時	内容	参加者数
12月10日(木)～1月15日(金)	絵本の回収	—
1月31日(日)13:00～15:30	親子ぐるぐるフェスの開催	中止

※1月31日は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

<成果や工夫したこと>

・開催は中止となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、検温・消毒・連絡先の記入などができた参加者にはリストバンドを着用してもらうといった対策を進めていました。
・出展者とはこまめに連絡・調整を行い、センター側の主旨や対策を理解した上で参加してもらう予定でした。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

・開催時期や会場の配置を工夫しながら、まずは実施に向けて調整を進めていきます。

⑩地域こだわりマルシェ&野菜市場

地産地消および循環型社会の推進のため、とよっぴーで育てた豊中産の野菜などを有料配布しました。また、「豊中市小売商業団体連合会」と連携し、環境や健康に配慮し、こだわりを持って地域で商いをしているお店の商品も販売しました。

月日	4月4日	5月2日	6月6日	7月4日	8月1日	9月5日	
参加者数	中止	中止	中止	57人	86人	75人	
月日	10月3日	11月7日	12月5日	1月9日	2月6日	3月6日	合計
参加者数	58人	50人	62人	36人	54人	75人	553人

※いずれも土曜の10:00～11:30（1月以降は終了時間を11:00に変更）で実施

※4～6月は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

※参加者数は販売のスタッフを含む

※9月は省エネ相談会、3月は古本市を同時開催



<成果や工夫したこと>

- ・センターの出入り口付近を入口・出口に分けた他、開始前に来場した参加者の距離を確保した待機場所の準備、販売者と購入者の間へ透明スクリーンの設置など、開催に向けて多様な新型コロナウイルス感染症対策を行いました。
- ・例年であればリユースバザーと同時開催していた古本市は、リユースバザーが実施できないため、地域こだわりマルシェ&野菜市場の同時開催として実施しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・年間を通して以前よりも来場者数が減少しています。より多くの人に知ってもらい、参加してもらえらるような工夫が必要です。

⑫自然工作

豊中産の自然素材（竹や小枝など）を使って、自然工作を実施しました。また、工作の過程や、できた工作物（おもちゃ）で遊ぶことを通じて、長らく自然環境の保全に取り組むシニアと、次世代の子どもたちの交流をはかりました。

日時	内容	講師	参加者数
8月19日(水) 10:00~11:30	豊中市産の竹や木で飾りトンボとけん玉を作って遊ぼう	当団体の自然部会・竹炭プロジェクトのメンバー	24人
12月19日(土) 10:00~11:30	豊中市産の竹や木でウグイス笛とぴこぴこキッツキ作り		30人
合計	2回		54人

※参加者数は当団体の会員を含む



<成果や工夫したこと>

- ・講師は前方でデモンストレーションをしながら説明し、やむなく参加者に近づいて教える際はマスクとフェイスシールドを二重に着用するなどの新型コロナウイルス感染症対策を行いました。
- ・豊中産の自然素材(竹や小枝など)を使っていることがわかりやすいタイトルにしました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・参加者にとって魅力のあるテーマで実施できるよう、今後も講師と一緒に検討してきます。

⑬おもちゃ病院

とよなか・おもちゃ病院と連携し、モノを長く使ってもらうため、壊れたおもちゃを修理する場を作りました。その場で修理できなかったおもちゃは、入院として一時預かりを行い、とよなか・おもちゃ病院が修理後、持ち込んだ方へお返ししました。

月日	4月11日	5月9日	6月13日	7月11日	8月8日	9月12日	
参加者数	中止	中止	35人	33人	50人	48人	
月日	10月10日	11月14日	12月12日	1月16日	2月13日	3月13日	合計
参加者数	38人	36人	40人	44人	31人	39人	394人

※いずれもすべて土曜の10:00~11:30で実施

※4・5月は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

※7月11日は、大雨警報により中止と判断したが、開始時間前に警報が解除したため、来場された方に可能な範囲で対応

※参加者数は講師を含む

※8月は省エネ相談会を同時開催



<成果や工夫したこと>

- ・とよなか・おもちゃ病院は 2019 年度末でとよなか人権まちづくりセンター（現在の人権平和センター一豊中）での実施を終了したため、2020 年度からはセンターでの実施を毎月へと変更しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、展示スペースでは受付のみとし、修理は会議室で実施しました。また、原則として当日は入院のみとし、参加者にはセンター内で待機せずに帰ってもらう形としました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・参加者が多いため、受付での順番待ちの際に待機列ができる場合があります。密集を避けるためにも、スムーズな対応を進める必要があります。
- ・7月11日のような警報発令時の対応や判断について、あらためて確認しておく必要があります。

⑭おはなし会「わにわに」

未就学児と保護者を対象にした絵本の読み語りを開催しました。環境につながる絵本を取り入れることや、簡単な手づくり工作をセットで行うことで、若い親子世代が環境やリサイクルに親しんでもらう機会としています。

2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、絵本の読み語りのみとし、手作り工作は実施しませんでした。なお、1 月は親子ぐるぐるフェスの企画（ブース）として予定しましたが、親子ぐるぐるフェスが中止となったため、実施できませんでした。

月日	5月24日	7月12日	9月13日	12月20日	1月31日	2月14日	合計
参加者数	中止	中止	20人	8人	中止	6人	34人

※いずれも日曜、単独開催は 10:30～11:00 で実施

※5・7・1月は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

2月14日は1月31日の代替分として追加で実施

※当団体の企画屋本舗プロジェクトが実施（参加者数は企画屋本舗の担当者を含む）



<成果や工夫したこと>

- ・参加家族ごとに離れて座ってもらう、手づくり工作を実施しないなどの新型コロナウイルス感染症対策を行いました。
- ・1月31日の親子ぐるぐるフェスでおはなし会を予定していましたが、中止となったため2月14日に代替の開催を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・手作り工作をセットにした、これまでと同様の開催ができるように検討していきます。

⑮環境映画祭

「あしたの暮らしとよなか」と連携し、2014～2016年度に「種まきシアター」と題して、持続可能な地域をテーマにしたミニシアター系の映像上映と参加者同士の意見交換の場づくりを行ってきました。2017年度からは「あしたの暮らしとよなか」が自立し、センターで独自に実施しています。

2019年度からは、あしたの暮らしとよなかとの共催により「ちょっとロハスな映画祭」と題した映画祭を開催しています。複数の映画を上映し、ロハスな企画をあわせて実施することで、関心の裾野を広げ、新たな層の参加者の獲得につなげる機会としました。

日時	内容	参加者数
11月8日（日） 10:00～17:00	第2回ちょっとロハスな映画祭 「マイクロプラスチックってなあに？」DAY 上映作品 「マイクロプラスチックマッドネス」（2回上映） 「懐かしい未来（ダイジェスト版）」 「パーマカルチャー」	59人

※参加者数は関係者などを含む



<成果や工夫したこと>

- ・「マイクロプラスチックマッドネス」では、上映後の参加者とのトークセッションの際、Zoomを活用して、上映した映画の監督（アメリカ在住の日本人）とオンラインで参加者が意見交換する機会を作ることができました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、飲食物の販売のかわりにプラスチックの削減につながるワークショップのコーナーを設けました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・あしたの暮らしとよなかとの共催を前提に、新たな層の参加が得られる機会として、引き続き開催を検討していきます。

○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していませんでしたが、豊中市伊丹市クリーンランドと連携して講座を行いました。

日時	内容	参加者数
6月28日(日) 13:00~14:00	クリーンランド市民講座(カプセルトイで起き上がりこぼしを作ろう)	19人
6月28日(日) 14:15~15:00	クリーンランド出前講座	28人
合計	2回	47人

※参加者数は関係者などを含む



(2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供

環境問題そのものの情報から、環境活動や環境イベントに関する情報の収集・提供・発信、環境情報に関する問合せ対応、図書の閲覧・貸出、センターに関する情報の提供・発信など、さまざまな形で取り組みました。

① ホームページの運営

オリジナルのドメインによる、センターのホームページを管理し、施設情報・イベント・環境情報などを発信しました。2020年度のページビュー数は15,445で、2019年度の20,579ページから大幅に減少しました（ブログページは除く）。

さらに、ホームページの運営の一環として、スタッフブログを更新しました。2020年度の更新件数は17件で、2019年度の29件から大幅に減少しました。ブログではイベントの報告を掲載し、講師や参加者にも掲載したことを伝えて、ブログやホームページの認知度向上に努めました。

ホームページアドレス <https://kankyokoryu.jp/>



<成果や工夫したこと>

- ・環境交流センターのおしらせを毎月掲載するなど、適切なページの更新を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、貸室の利用条件の変更などについてホームページで公開していたところ、利用者からそれらを確認しているという声などを確認することができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・ホームページのページビュー数やスタッフブログの更新件数は、2019年度から大幅に減少しました。臨時休館やイベントの中止などが影響していると考えられます。指定管理者選定評価委員会にて、SNSの運用についての意見があったことから、今後は新たにSNSの運用を検討し、ホームページやスタッフブログの活用も含めて、情報発信を強化していきます。
- ・ページビュー数の把握について、解析方法により大きく異なることが引き続き課題となっています。今後も適切な把握方法について検討していきます。

② 環境交流センターのおしらせ

センターの行事や案内を、「環境交流センターのおしらせ」としてチラシにまとめて毎月発行し、センター内での掲示や来場者への配布を行うとともに、環境交流センターのホームページでも公開しました。2018年6月からはデザインをリニューアルし、各月の情報量に応じて、A4サイズ2ページ、または4ページの構成としています。2019年度からは、公共施設への一斉配架を取りやめ、毎月利用者が取りに来る一部の施設のみの配架としました。

また、お知らせに掲載している内容は、豊中市立図書館のメールマガジンへ情報提供し、配信・掲載を通して広く周知しました。



<成果や工夫したこと>

- ・毎月作成・発行していますが、4・5月は臨時休館の延長等があったため、複数回の作成（内容の更新）を行いました。
- ・陶器の持ち込み日も掲載し、来場者にはセンターのおしらせを渡して持ち込み日を案内しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・今後も適切に作成・発行をしていきます。

③リーフレットの配布

来場者や行事参加者へセンターのリーフレットを配布しました。



<成果や工夫したこと>

- ・環境情報検索用のパソコン利用が2019年度末で終了したため、リーフレットの該当部分にシールを貼って修正し、引き続き利用をしました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・第2期の指定管理期間を踏まえると、一定程度のリーフレットが残っているため、もっと多くの市民にセンターを知ってもらえるように、配布方法を検討していきます。

④多様な媒体や手法による情報の発信

環境交流センターのおしらせの内容について、ファンクラブメンバーを対象にメールマガジンを発行しました。また、豊中市立図書館のメールマガジンへ情報提供し、配信を通して広く周知しましたが、臨時休館中の5月分のみ情報提供を見送りました。

さらに、イベント告知ページへ一部のイベント情報の掲載を行いました。新型コロナウイルス感染拡大予防による行事の中止など、掲載できない月は実施しませんでした。

<成果や工夫したこと>

- ・適切に運営しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・イベントの告知のあり方については、SNS への投稿なども含め、あらためて広報手段を整理していくことが必要と考えられます。

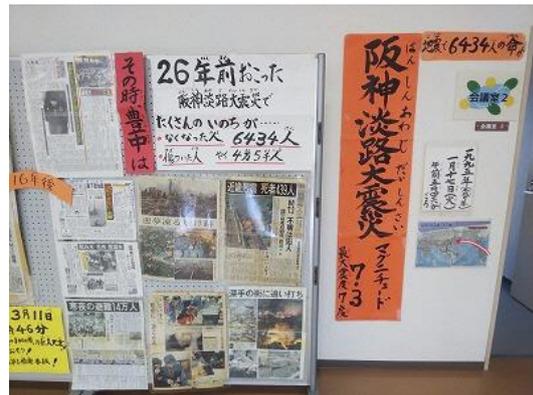
⑤環境ギャラリー

環境交流センターの展示スペースを活用し、環境にまつわる展示を行いました。

2020年度は、指定管理事業に関するものや、豊中の自然をテーマとしたものなどを紹介しました。

期間	内容	団体	備考
7月9日（木） ～30日（木）	STAY HOME 応援図書展	—	
9月8日（火） ～30日（水）	豊中の自然展「豊中のキツネ・タヌキとツバメのねぐら ナウ！」	当団体の自然部会	
3月11日（木） ～30日（火）	あの日を忘れない！～いのちと環境を守り、未来につなごう～	福島プロジェクト豊中	

※豊中の自然展は4月7日～30日の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、9月8日～30日に延期して実施



<成果や工夫したこと>

- ・例年7月に実施している図書展は、参加者に手に取ってもらいやすくするため、タイトルなどの見直しを行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・臨時休館などもあったことから、例年同様のテーマの展示のみとなりました。今後は新たなテーマの展示も検討していきます。
- ・震災の展示では、実施団体で福島県とオンラインでつなぐ企画案も検討しています。

⑥身近な生き物調査

自然に関心のある市民を調査員として募集し、市民による豊中市内の自然調査を実施しています。

2020年度は初めてカエルをテーマとして実施しました。

また、2019年度の「写真による豊中の“むし”調べ」は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、3月以降のまとめ作業や報告書の作成を延期したため、報告会・交流会の開催とあわせて、2020年度に実施しました。

【写真による豊中の“むし”調べ】

実施日	内容	場所	参加者数
5月19日(火)～7月8日(水)	まとめ作業、報告書作成(9回)	くらしかん 環境交流センター	42人
7月11日(土) 14:00～16:00	報告会・交流会	くらしかん	16人
合計	10回		58人

※報告会・交流会は5月30日(土)への延期で予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防により7月11日(土)へさらに延期した

【カエル調査豊中2020】

実施日	内容	場所	参加者数
6月16日(火)～19日(金)	準備・打合せ(2回)	環境交流センター	6人
6月20日(土) 13:30～15:30	調査説明会	中央公民館 ふれあい緑地	18人
6月20日(土)～10月31日(土)	調査期間	豊中市内全域	22人
12月23日(水)～3月23日(火)	まとめ作業、報告書作成(10回)	環境交流センター くらしかん	30人
3月27日(土) 14:00～16:00	報告会	くらしかん	14人
合計	15回		90人

※調査説明会は5月16日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防により6月20日に延期

※当団体の自然部会が実施

※調査員数22人



＜成果や工夫したこと＞

- ・2019年度中に積み残した分と、2020年度分の調査について、いずれも年度内に実施・完了することができました。
- ・カエル調査の結果は、「豊中市史 自然編」以来のデータでした。「豊中市史 自然編」には8種の記載がありますが、今回確認されたのは5種(うち1種は新たな確認)でした。

＜これからの方向性(現状の課題を含む)＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、カエル調査の説明会の時期が遅くなったことから、調査員の参加や得られた調査データが予想より少なくなりました。
- ・2018年度に調査したツバメの営巣調査と同様で、水田やため池の数がカエルの生息数に影響を及ぼしていることがわかりました。生物多様性の観点から、水田やため池のあり方も今後の課題になってくると考えられます。

⑦図書などの閲覧・貸出し

環境に関する図書や資料を設置し、図書・資料室にて閲覧スペースを設けるとともに、利用者が希望する図書などについて、内規に基づき貸出しを行いました。さらに、閲覧・貸出しを促進するため、環境ギャラリーの一環として、図書をテーマとした展示も実施しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出件数	—	—	2	8	2	0	1	3	0	2	6	3	27件
貸出冊数	—	—	2	12	5	0	1	3	0	4	12	5	44冊

※図書をテーマとした展示は、(2) ⑤環境ギャラリーに記載

※4・5月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館で中止



<成果や工夫したこと>

- ・貸出件数が2019年度の32件(54冊)から27件(44冊)へと減少しましたが、臨時休館があったことや、ファンクラブのポイントがもらえるための子どもの貸出しが減ったことを考慮すると、これまでと同程度の利用があったと考えられます。
- ・2019年度から定期購読を開始したソーシャル&エコ・マガジン「ソトコト」についても、貸出しでできるようにしました。
- ・研修利用を目的に、毎年DVDを借りる方がいるため、2020年度は映像系の購入も行いました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、現在は図書を長時間閲覧できないようにしていますが、展示スペースの机やキッズスペースの利用再開の検討とあわせて、図書の閲覧についても検討していくことが必要です。

⑧学生の環境活動の支援

環境活動に関心ある学生が学びを深めるため、環境活動に関わる学生の活動支援などを行いました。

なお、毎年2月に実施されている大阪大学環境サークルGECSの総会にも出席予定でしたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となりました。

日時	内容
8月28日(金) 11:30~12:30	大学生の卒業論文に関するヒアリング対応(近畿大学4年生で豊中市在住)

<成果や工夫したこと>

- ・適切に実施(支援)しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・今後も学生側のニーズなどに応じて支援を行っていきます。

⑨地域との連携強化

センターがある南桜塚校区の地域自治組織（南桜塚校区地域連絡協議会）に2018年4月の総会から当団体として正式に加盟しています。協議会の一員としての役割を果たすことを通じて、地元地域との連携を強化し、地域でのセンターの理解向上へとつなげていくことをめざして参加したものです。なお、協議会の加盟団体は、防犯部会か防災部会のいずれかに参加することとなっており、当団体では引き続き防災部会に所属しました。

また、豊中市社会福祉協議会の地域福祉ネットワーク会議への参加を通じて、豊中市内の地域団体とのつながりを広げることをめざしました。

【南桜塚校区地域連絡協議会】

項目	日時	内容	場所	備考
全体	4月19日（日）	総会	南桜塚会館	中止
	8月2日（日）19:00～20:00	運営委員会	南桜塚会館	1月中止 2月中止
	9月27日（日）19:00～20:00			
	10月25日（日）19:00～20:00			
	12月6日（日）19:00～20:00			
	1月31日（日）			
	2月21日（日）			
	3月28日（日）19:00～20:00			
1月9日（土）	新年互例会	サマルカンド柴藤	中止	
防災部会	6月20日（土）19:30～21:00	防災部会	南桜塚会館	
	7月18日（土）19:30～21:00			
	9月19日（土）19:30～21:30			
	11月21日（土）19:30～21:00			
	3月20日（祝）19:30～21:00			
	10月17日（土）19:00～21:00	防災研修会	南桜塚会館	部会も開催
	9月12日（土）19:00～20:30	防災セミナー	南桜塚小学校	
11月23日（祝）9:30～12:00	防災訓練（スタッフ）	南桜塚小学校		

※4月19日、1月9日、1月31日、2月21日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

※8月8日、1月16日の防災部会は欠席のため上記に記載なし

【地域福祉ネットワーク会議】

月日	エリア	場所
2月22日（月）	中部	オンライン
2月24日（水）	中東部	オンライン
3月5日（金）	中西部	オンライン

※時間はいずれも13:30～15:00

<成果や工夫したこと>

- ・南桜塚校区地域連絡協議会では、2020年度も運営委員会で行事のPRを行うなどしたことにより、関係者の方にセンターへ来ていただく機会となりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・引き続き協議会や行事への参加を通して、地域との連携強化を進めていきます。

⑩近隣団体・環境団体との連携

センターに勤務する当団体職員が、定期的に近隣の行政や環境団体と交流をはかり、近隣や広域の環境情報を把握するとともに、必要に応じて情報の提供・発信を行っています。2020年度も、特定の行事への参加などはありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響や対応などについて、各地の環境団体や関係者と断続的に情報交流を行いました。

<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響や対応などについて、各地の環境団体や関係者との情報交流を通じて、現状を把握しました。
- ・当団体への訪問にいられた環境団体に対して、センターの紹介を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・本事業における近隣団体・環境団体との連携のあり方について、どのような形が望ましいのかを検討していくことが必要です。

⑪施設内での情報提供

豊中市内外の環境イベントや環境に関する情報について、収集・提供・発信しました。

具体的には、センターに寄せられたポスターやチラシの掲示・配架を行うとともに、センターを利用して行われる行事チラシを掲示しました。

市民からの問合せや、来場者による環境情報の提供などを行いました。ごみに関する問合せは一定程度ありますが、環境活動などに関する問合せは引き続き減少傾向にあります。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	2	5	3	4	6	5	2	2	1	2	5	37件

※各月の数字は利用件数

※センターの行事に関する問合せや当団体に対する問合せは含んでいない



<成果や工夫したこと>

- ・ポスターの掲示やチラシの配架は適切に運営を行いました。家庭ごみ事業課のごみ収集車を作ることができる配布物が来場者などに人気であり、2020年度も追加の提供を依頼しました。
- ・市民からの問合せについては、臨時休館中も電話で対応を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・市民からの問合せは2019年度の34件から37件へと微増しました。2018年度が39件であったことからここ数年は横ばいの傾向にあります。問合せ件数の望ましい状況については、今後も分析・検討していく必要があると考えられます。

⑫メディアへの情報の発信

これまでも施設の取り組みについて、FM 千里（コミュニティ FM のラジオ局）の生放送、ケーブルテレビ（J:COM）の取材、「TNN 豊中報道。2」への紹介など、メディアの取材や対応を行ってきました。2020 年度もメディアへの情報発信などを行いましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特筆すべき取材や問合せなどありませんでした。

<成果や工夫したこと>

- ・掲載にはつながりませんでしたが、センターの行事について「TNN 豊中報道。2」などへ継続して情報提供を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・2020 年度は行事への取材等が限られていたため、今後は積極的にメディアへの情報提供を行っていくように心がけます。

(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施

地球環境の保全等につなげるため、関連する内容の講座や普及啓発を行いました。また、これまで豊中市が主体となっていた啓発事業を引き継いで実施するとともに、これまでも当団体が市と協働で進めてきた自然環境啓発や循環型社会推進についても取り組みました。

①環境基本計画の啓発展示

当団体はセンターの運営を通して、「豊中市環境基本計画」と「豊中アジェンダ 21」が共有する「望ましい環境像」の実現、および「豊中アジェンダ 21」の行動提案の達成をめざして事業を実施しており、環境基本計画の普及・啓発を目的とした展示を通して、市民の環境基本計画への理解を深めていくことをめざしました。

具体的には、環境基本計画の内容などについて、クイズ形式での展示を行い、解答用紙に記入・応募すると抽選で図書カードを進呈しました。あわせて、環境基本計画に関するアンケートを実施し、市民の実態把握にも努めました。

期間	内容
1月13日(水)～ 2月9日(火)	クイズでわかる環境基本計画 パネル展示とクイズの実施 環境基本計画に関するアンケートの実施 参加者アンケート 8枚回収 ※アンケート回答者の中から抽選で5人に図書カード(500円)を進呈



<成果や工夫したこと>

- ・環境基本計画の内容のうち、2019年度に紹介しなかった目標1(協働とパートナーシップ)と目標4(みどり)を主なテーマとし、協働の取組みに関する意見交換会などの事例を紹介しました。
- ・広報とよなか2019年8月号に特集として掲載されたSDGsのページについてもパネルとして一緒に掲示しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・緊急事態宣言中の実施となり、来館者が少ない時期で、さらにアンケートへの参加呼びかけを控えたため、回収できた参加者アンケートの枚数が非常に限られました。

②地球温暖化防止講演会

地球温暖化防止の普及啓発を目的に、地球温暖化防止の講演会を開催しました。例年は環境政策課と連携し、「とよなかエコ市民賞」の表彰式を同時開催していますが、2020年度は「とよなかエコ市民賞」の受賞団体がなかったため、講演会のみ単独で開催しました。

また、初めての試みとして講演会の内容をYouTubeでライブ配信し、講演会後もセンターのホーム

ページから閲覧できるようにしました。

日時	内容	参加者数
2月16日(火) 10:00~12:00	目からウロコなエコの授業 講師：立山裕二さん (おおさかATC グリーンエコプラザ 環境アドバイザー)	11人 (会場)

※参加者数は当団体の会員や講師、市職員などを含む

※ライブ配信：最大同時視聴者7人

YouTube ユニーク視聴者数16人(3月10日現在)



<成果や工夫したこと>

- ・例年同様に講演会の案内をとよなか市民環境会議の構成団体に案内し、構成団体からも参加を得ることができました。
- ・環境政策課の協力を得て、講演会の内容を YouTube でライブ配信することで、これまでになかった新たな参加の機会を創出することができました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・講演会のみになったとはいえ、例年よりもかなり低調な参加人数となりました。今後は例年同様に多くの参加が得られるように企画・検討していきます。

③暮らしやモノを考える講座

家庭の暮らしにつながる講座として、2020年度は整理収納・小豆カイト・布なぶきんの3つのテーマを実施しました。みどりのカーテンも予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となりました。

整理収納は2014年度からの継続として、自分の暮らしにおける生活用品の適量を把握し、モノの手放し方を学ぶ機会とし、情報交換を通して主体的に学びあう場を提供しています。2019年度からは半年間の講座とするとともに、サークルの卒業生を対象とした情報交換の場(同窓会)を設けています。

小豆カイトと布なぶきんは、受付で常設販売している布なぶきんの製作者を講師として、体に優しい手作り品を通してごみや体を考える機会として開催しました。

【整理収納サークル】

月日	内容	講師	参加者数	一時保育
5月21日	—	尾山敬子さん (整理収納アドバイザー)	中止	—
6月18日	—		中止	—
7月16日	単発開催		4人	0人
9月17日			6人	0人
10月15日			6人	0人

11月19日	下半期（連続講座）	8人	1人
12月17日		8人	0人
1月21日		9人	1人
2月18日		8人	1人
3月18日		8人	0人
8月20日	整理収納サークル同窓会	7人	0人
合計	9回	64人	3人

※いずれもすべて木曜の10:00～12:00で実施（11月19日は9:30～新参加者へ事前説明）

※5・6月は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

※参加者数は講師を含む



<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、上半期は新規の参加者の募集ができませんでしたが、継続参加者を対象にできるだけ多くの回数を実施しました。
- ・展示スペースにキッズコーナーがなかったため、講座の度に一時保育用の会議室を確保し、そこにキッズマットやおもちゃを用意することで、これまで同様に一時保育利用の参加者を受け付けました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・2019年度の課題解決として、上半期の募集開始を5月からに変更しましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防により受付ができなかったため、効果の検証ができませんでした。

【小豆カイロ】

日時	内容	講師	参加者数	一時保育
12月10日(木) 10:00～11:30	体と環境に優しい手作り講座 あずきカイロ	USAGIGUMO さん (北摂手作りの会)	5人	3人

※講師はオンラインで参加

【布なぶきん】

日時	内容	講師	参加者数	一時保育
12月15日(火) 10:00～11:30	体と環境に優しい手作り講座 布なぶきん	USAGIGUMO さん (北摂手作りの会)	4人	2人

※講師はオンラインで参加



<成果や工夫したこと>

- ・小豆カイト、布なぷきんともに Zoom を活用し、講師がオンラインで会場の参加者にレクチャーする方法を試行しました。講師とは事前にオンラインのテストや、キットの受け渡しを行うことで、当日はトラブルもなく実施することができました。
- ・単に手作りするだけではなく、講師や参加者で意見交換することにより、それぞれの参加者が多様な視点を持ち帰ってもらうことができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・オンラインのため、できるだけ参加者の進捗にあわせて講座を進めたところ、いずれも予定時間を大幅にオーバーしてしまいました。今後は講座の時間管理を確認していきます。
- ・次回も同様のオンラインで開催するとしたら、講師が参加者の様子を把握するため、参加者の手元を映すためのカメラなどの機材が必要です。

【みどりのカーテン】

日時	内容	講師	参加者数
5月29日（金） 10:00～11:30	ゴーヤで緑のカーテン作り	豊中みどりの交流会 豊中緑化リーダー会	中止

※新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

<成果や工夫したこと>

- ・特になし。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・講座が中止となったため、花とみどりの相談所で準備をしていたゴーヤの苗が無駄になってしまいました。今後は中止となった際の代替策の検討も必要です。

⑤リサイクル作品展

小学生が夏休み中の自由研究などで作成したリサイクル工作の作品を募集・展示し、豊中市と連携して優秀作品を表彰しました。

期間	内容
8月1日（火）～10日（祝）	作品の募集（31件）
8月13日（木）～20日（木）	作品の展示（入賞5件）



<成果や工夫したこと>

- ・小学校の臨時休校により、小学生の夏休み期間が短くなったものの、日程を調整することにより、例年程度の展示期間を確保することができました。
- ・2019年度に続き、センターの周辺と過去に多くの応募があった合計7小学校の全校児童にチラシを配布しました。2017年度の応募数46点には及ばないものの、2019年度の24点から増加しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・今後も小学校等へのチラシ配布などにより、2017年度以前の応募数を確保できるよう、広報を強化していきます。

⑥自然観察会

地域の自然環境に親しんでもらうため、豊中市内の自然が残された場所で自然観察会を開催しました。

月日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
4月16日(木) 9:30~12:00	春の自然観察会「島熊山で植物観察」	島熊山緑地	中止		
8月2日(日) 9:00~12:00	箕面川の水生生物観察会	箕面川	21人	23人	10人
9月25日(金) 18:00~20:00	秋の夜の鳴く虫観察会	服部緑地	10人	10人	7人
2月6日(土) 9:30~12:00	冬の野鳥観察会	服部緑地	21人	3人	10人
合計	3回		52人	36人	27人

※4月16日は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

※水生生物観察会は7月26日(日)に予定したが、悪天候のため8月2日に延期

※当団体の自然部会が実施(スタッフ数は自然部会の担当者の人数)



<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防により、夏のプール等の機会が減ったためか、水生生物観察会には例年より多くの問合せがありました。
- ・2020年度の参加者数は88人で、2019年度の115人からは減少しましたが、4回とも実施して87人であった2018年度よりよかったと考えられます。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・2020年度は実施ができた水生生物観察会、鳴く虫の観察会、冬の野鳥観察会はいずれも毎年の観察会で確認できた種をデータとして蓄積しているため、今後中止となった際には、データの蓄積としての代替策が必要となります。

⑦自然学習講座

豊中の自然環境の現状や保全についての理解を深めるため、専門家を講師に講座を開催しました。

月日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
1月16日(土) 14:00~16:00	新しくやってきた外来生物	松本吏樹郎さん(大阪市立自然史博物館主任学芸員)	中央公民館	中止	
2月20日(土) 14:00~16:00	川づくりは街づくり	村上健一郎さん(福田川クリーンクラブ会長)	中央公民館	10人	2人
3月21日(日) 14:00~16:00	天下茶屋湿地と片葉葦の保全	磯上慶子さん(なにわの片葉葦保存会)	中央公民館	12人	2人
合計	2回			22人	4人

※1月16日は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

※当団体の自然部会が実施(スタッフ数は自然部会の担当者の人数)



<成果や工夫したこと>

- ・中止となった1月の講座については、次年度に再度同じ内容で計画することを講師と調整し、参加予定者に対してはその旨を個別に連絡しました。
- ・1月の講座が中止となったことを踏まえて、2月と3月の講師に対しては、緊急事態宣言が発令されていた場合の講演の有無などを事前に確認した上で調整を進めました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・1月の講座については、緊急事態宣言が発令されても実施できることを豊中市と確認していましたが、講師側の組織で派遣中止となり、開催ができませんでした。今後はオンラインも含めた講座の開催確保を検討していくことが考えられます。

⑧自然ふしぎ発見クラブ

豊中の自然にふれあい、体験できる機会として、5歳～小学生とその保護者を対象に行いました。

月日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッフ数
			子ども	おとな	
4月4日(土) 10:00～12:00	旧野田村輪中跡・桜堤を訪ねて	庄内駅～野田町 周辺	1人	5人	2人
4月11日(土) 9:30～12:00	竹のふしぎ発見と地下茎の観察	千里緑地	中止		
6月27日(土) 10:00～12:00	ふれあい緑地ビオトープで生き物 調べ	ふれあい緑地	9人	8人	5人
7月23日(祝) 18:30～20:30	公園でセミの羽化を見てみません か	千里中央公園	26人	29人	5人
9月19日(土) 9:30～12:00	バッタなど秋の虫観察会	服部緑地	22人	17人	8人
3月20日(祝) 10:00～12:00	春の野草観察と草木染め	環境交流センタ ー	9人	7人	4人
合計	5回		67人	66人	24人

※4月11日は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

※9月21日開催分は、「服部緑地の自然を育てる会」の後援

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



<成果や工夫したこと>

- ・2020年度の参加者は133人で、2019年度の221人からは大幅に減少したものの、広報とよなかに記事の掲載がなかった4・6月についてもチラシの配布などにより一定の参加を得て実施することができました。
- ・萩の寺公園での工事が終了したこともあり、2013年度以来でセンターを活用しての開催をすることができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・子ども向けのとよなか探訪を企画したものの、広報とよなかに記事の掲載がなかったことから参加者が限られてしまいました。今後も同様のテーマを企画し、子どもたちが豊中の自然と歴史を学ぶ機会を作っていきます。

⑨自然環境の保全活動

豊中市内に残された豊かな自然環境を残していくため、残された自然を歩く「豊中の里地探訪」や、「豊中の自然を守る」活動の体験を実施し、自然環境の保全に対する理解を深めました。

【豊中の里地探訪】

月日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
10月16日(金) 10:00~12:00	旧寺内村・旧石蓮寺村から長興寺地区を訪ねて	緑地公園駅～長興寺	15人	4人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）

【豊中の自然を守る】

月日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
11月11日(水) 9:00~12:00	猪名川自然林の手入れと自然観察会	猪名川自然林	9人	2人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



<成果や工夫したこと>

- ・里地探訪はウォークと観察を兼ねた企画として例年同様に多くの参加があり、豊中の自然と歴史について知ってもらう機会となりました。
- ・豊中の自然を守る活動は、新型コロナウイルス感染拡大予防を行いながら、豊中市のマイクロバスを利用して実施することができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・里地探訪のように、ウォークと観察を兼ねた行事は人気が高いため、引き続き場所を変えながらより多くの方に豊中の自然を知っていただく機会として継続していきます。

⑩制服・学用品のリユース

豊中市内で市民活動に取り組む有志などで構成する「おさがりの会」と連携し、まだ使える制服や学用品をセンターで回収し、必要とする人へのマッチングを行いました。

日時	内容	スタッフ数
5月8日(金)～ 31日(日)	制服・学用品の回収	中止
12月10日(木)～ 1月15日(金)	制服・学用品の回収 制服、楽器、文具など約167点	—

1月31日(日)	制服・学用品の販売(親子ぐるぐるフェス)	中止
随時	生活困窮者支援の関係者を通じて、制服などを提供	—

※5月8日～31日、1月31日は新型コロナウイルス感染拡大予防により開催を中止

<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2020年度は1回しか回収期間を設けられませんでした、一定程度の制服・学用品を回収することができました。
- ・生活支援の関係者を通じて、保管していたランドセルや中学生の制服を必要としている方へ個別に提供するという対応を行いました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2020年度は制服を回収しやすい時期(5月)も、一般の参加者に回収品を提供する機会(1月31日)も中止となり、資源循環が停滞してしまいました。年間を通じて、回収や提供を進めていく方策を検討していくことが必要です。

⑪施設間連携スタンプラリー

豊中市内で指定管理等により運営している各分野の施設と連携し、施設間の相乗効果を目的に、2018年度から施設間でのスタンプラリーを実施しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設が連携してスタンプラリーを実施することは難しいものの、とよなか国際交流センターの提案により、各施設で連携して映画の上映を行う「とよなかシネコン」の提案があったことから、これをスタンプラリーに替わる企画と位置付けて実施しました。

なお、「とよなかシネコン」の実施に際して、センターでの映画上映は「種まきシアター」として、あしたの暮らしとよなかと共催で行いました。

日時	行事名	参加者数
2月20日(土) 14:00～16:00	とよなかシネコン 種まきシアター「ヴァンダナ・シヴァのいのちの種を抱きしめて with 辻信一」	21人

※参加者数は共催団体のスタッフを含む



<成果や工夫したこと>

- ・「とよなかシネコン」では、パンフレットにスタンプを集めて、集めたスタンプの数だけ近隣の飲食店でサービスを受けられるという企画があり、従来とは異なる形でスタンプを活用しました。
- ・参加者アンケートから、参加者の2/3以上が他施設でも映画を見ており、また、センターで映画を見た半数が初めての来場者であったことから、施設間連携の成果があったと考えられます。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防により会議室の定員が半数になっていたため、当日参加の一部は断ることになった一方で、事前申込者の欠席が多くて上映中は空席ができていました。定員や受付方法などについて、検討することが必要です。
- ・施設間連携スタンプラリーとして、今後も「とよなかシネコン」を位置付けていくのか、2019年度以前の企画を実施するのか、他施設とも相談しながら検討していきます。

⑫ESD セミナー

持続可能な地域づくりをめざして、市民に気軽に参加してもらえるようなセミナーを企画しています。2020年度は買い物とSDGsに関わりをテーマに開催しました。なお、実施に際してはとよなかESDネットワークとの連携・協力により実施しました。

日時	内容	参加者数
3月25日（木） 10:00～12:00	買い物から考えるSDGs（1日目）	4人
3月13日（土） 10:00～12:00	買い物から考えるSDGs（2日目）	15人
合計	2回	19人

※参加者数は当団体の会員や講師などを含む

※1日目は3月10日に予定していたが、講師・参加者とも都合が悪くなったため、3月25日に延期



<成果や工夫したこと>

- ・2日目は講師として（株）サラヤの方に講演していただき、これまでと違って事業者の視点を入れたセミナーにすることができました。
- ・オンラインでも参加を募集し、2日目はオンラインの参加者がありました。講演を聞いたり、ワークショップに参加するなど、オンラインの参加者も会場での参加者と同じプログラムで参加してもらうことができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・チラシの完成が遅れたため、広報期間が短くなってしまいました。今後はもっと早めの準備をしていきます。
- ・例年と異なり、ESD とよなか連絡会議の協力や連携による実施には至りませんでした。今後のセミナーのあり方を検討する必要があります。

⑬キッズクラブ

「ぴったんこ隊 mini」と題して、小学1～4年生を対象に、世界や地域の環境を考えることをテーマとした、参加・体験型の連続講座を実施しました。講座は大阪大学の環境サークル GECS が主体となってプログラムを実施し、当団体で広報や参加者、プログラム先との調整などを担いました。また、講座の開催を通じて、大学生の環境活動の場を提供し、大学生の成長を支援する機会にもしました。

なお、講座は年2回程度の期間を想定していましたが、夏休みは新型コロナウイルス感染拡大予防のため企画に至りませんでした。

日時	内容	場所	参加者数
3月27日(土) 14:00～16:00	エコショップを知ろう!	環境交流センター	17人
3月29日(月) 14:00～16:00	エコショップに行こう!	コープ桜塚	19人
3月30日(火) 14:00～16:00	エコショップを作ろう!	環境交流センター	14人
合計	3回		50人

※参加者数はスタッフを含む

※小学生の参加登録者数は9人



<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2019年度に中止となった企画を2020年度に実施する形としました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、コープこうべの見学では班を分けるとともに、会議室の定員に制限があることから、見学後は環境交流センターへ移動して、引き続き講座を行いました。
- ・参加した小学生全員が落ち着いて、協力的に参加してくれたため、スムーズな実施ができました。
- ・プログラムの質の維持や学生の学びの場として、大学生が企画したプログラムに対して事前のリハーサルや毎回の実施後のふりかえりの場を設けて、助言や支援を行いました。
- ・屋外での実施に際しては、開催前に保護者へ手紙を渡すとともに、後日に当日の様子をブログで報告しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・近隣の小学校にチラシを配布したものの、参加者は定員を下回りました。小学生にとって魅力的な内容や、わかりやすい広報を検討していくことが必要です。
- ・小学生が協力的であったため、講座が予想以上にスムーズに進行し、予定していたプログラムが早く終わってしまうことがありました。今後は多様なケースを想定したプログラム作りを行っていきます。

⑭サイエンスカフェ

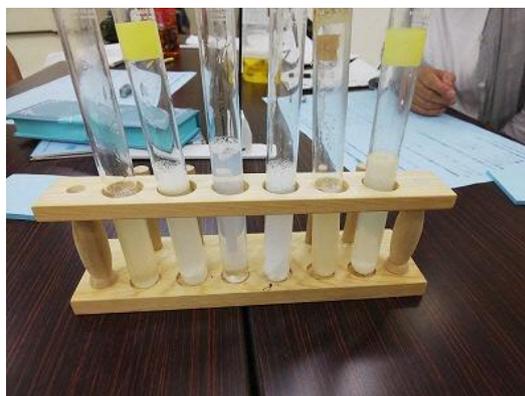
科学・化学実験や科学・化学にまつわる話題を通して、環境問題や生活とのつながりについて考える場を作りました。多様な世代が考える機会を作るため、子ども対象と大人対象の両方を実施しました。

日時	対象	内容	講師	場所	参加者数
8月9日(日) 13:00~15:30	子ども	ぐるぐるめぐる水 川 や湖を守るためにできること	黒河内繁美さん (Wakka)	環境交流センター	11人
8月10日(祝) 8:00~17:00			松沢松治さん(漁師)	滋賀県野洲市 菖蒲漁港	中止
3月11日(木) 10:00~12:00	大人	体や環境にいい保湿	梁井結さん (GOKANの木)	環境交流センター	6人
合計		2回			17人

※8月9日の参加者数は講師や見学の保護者を含む

※8月10日は新型コロナウイルス感染拡大予防により、参加予定であった滋賀県野洲市菖蒲漁港でのあやめ祭りが中止となったため、開催を中止

※3月11日の一時保育2人



<成果や工夫したこと>

- ・子ども向けは、2019年度に引き続き、「水の循環」をテーマとした2日間の連続講座として企画しました。
- ・大人向けは、2019年度に中止となった講座をもとに、年代や性別に限らない参加が得られるように、コスメから保湿へとテーマを見直しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・子ども向けは、例年であれば多数の参加がある内容ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、非常に申込みが限られました。他県への移動であることから、今後も新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら企画実施の判断をしていきます。
- ・大人向けは、今後も多様な年代・性別が参加できる企画を検討していきます。

⑮持続可能な消費に関する講座

誰しも身近な衣・食を通して持続可能な消費を身近に考え、自分の消費行動が環境や社会に影響を与えることを自覚するとともに、環境や社会に配慮した商品選択について知る(グリーンコンシューマーについて知る)ための講座を実施しています。

2019年度はエシカルマーケットと同時開催の講座として実施しましたが、エシカル(ethical)にまだあまり馴染みがないという声も聞かれるため、2020年度は持続可能な消費に関する講座をメインとし、エシカルマーケットの要素も入れながら実施しました。

日時	内容	参加者数
10月24日(土) 13:30~15:30	ポテトチップスとオランウータンの森	21人

※参加者数は講師や物販のスタッフを含む



<成果や工夫したこと>

- ・センターの来場者にも参加を広く呼びかけたため、日常的にセンターを利用する方の理解向上にもつなげることができました。
- ・2019年度のエシカルマーケットに出展した団体の一部に協力を得て、当日に会場で参加者がエシカル商品を(任意で)購入できるようにしたことで、座学で学ぶだけでなく、エシカル消費を実践する機会も設けました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・参加者が限られたことから、エシカル商品を購入する人が限られました。出展した団体にとってもよかった開催となるよう、今後も講座と体験のバランスを考えながら進めていきます。

(4) 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供

地球環境の保全等を推進するため、市民・団体・事業者に施設貸出を行うとともに、環境活動を支援する取り組みを行います。

①施設でのイベント掲示板の設置

センターを利用して市民や団体が実施する環境イベント等について、チラシ等を貼ることができる専用の掲示板を設置して、来場者へのPRを促進しました。



<成果や工夫したこと>

- ・適切に運営しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・団体がセンターを利用して環境イベントを実施する際にチラシ等の持参が少ないことが課題でしたが、2020年度はセンターを利用して環境イベントがさらに少なくなったため、掲示板の活用がさらに限られました。今後は施設のデザインも含めた活用の検討をしていきます。

②コピー、大型プリンター、印刷機、紙折り機の利用

コピー、大型プリンター、印刷機の利用を有料で、紙折り機の利用を無料で提供しました。コピーは、打合せや貸室の利便性向上を主たる目的とし、大型プリンターや印刷機、紙折り機は、環境活動のサポートはもとより、地域の多様な取り組みに利用することができるため、施設への来場のきっかけとしても活用しました。

なお、利用件数は2019年度と比べて、いずれも大幅に減少しました（コピー136件→58件、大型プリンター26件→16件、印刷機56件→29件）。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
コピー	—	—	5	5	5	11	2	6	5	3	9	7	58件
大型プリンター	—	—	6	0	1	1	0	0	2	2	2	2	16件
印刷機	—	—	6	2	1	5	1	5	1	2	3	3	29件

※各月の数字は利用件数

※4・5月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館で中止（コピーは5月19日～31日の条件付き貸室利用の際はこの限りでないが、利用はなかった）

※印刷機は修理のため、10月11日（土）～15日（木）の使用を中止

※紙折り機は無料のため、利用件数をカウントしていない



<成果や工夫したこと>

- ・適切に運営しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防による行事や貸室利用などの中止により、利用件数の減少はあるものの、いずれも一定のニーズが認められるため、今後も引き続き実施していきます。

③打合せなどに伴う物品の貸出し

ロビーや会議室で打合せや作業を行う際、円滑に進めることができるように、関連する物品などを提供しました。傘は「貸し傘」として「そね21の会」と連携して取り組みました。

- ・裁断機
- ・ラミネーター（ラミネートフィルムは希望者に有料）
- ・貸傘
- ・リユースカップ（会議室の利用時など）



<成果や工夫したこと>

- ・適切に運営しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、リユースカップの利用は大幅に減っています。今後の状況を見ながら、物品の貸出しのあり方についても検討をしていきます。

(5) その他

①回収拠点

リユース・リサイクルのための回収拠点として、以下の物品を回収しました。なお、ベルマークは南桜塚小学校 PTA、子ども服は豊中市家庭ごみ事業課、傘はそね 21 の会との連携により提供しました。

回収品	対象	対応
ペットボトル	主に他へ提供する物品	豊中市の委託先が週 2 回程度回収
インクカートリッジ		豊中市のインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして実施 10月6日(火)、3月18日(木)に各1箱を回収先へ送付
小型家電		豊中市が週 1 回程度回収
蛍光灯・電池類		豊中市が週 1 回程度回収
ベルマーク		回収したベルマークを地域へ提供 6月26日(金)、10月22日(木)、2月16日(火)に南桜塚小 PTA へ提供
子ども服 (期間限定)		5月8日(金)～31日(日)は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館で中止 9月1日(火)～30日(水)に70～160cmのこども服約900枚を回収し、家庭ごみ事業課へ提供
傘	主にセンターで活用する物品	貸し傘用として利用 3月10日(水)に「そね21の会」へ33本を提供

※4・5月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館で中止



<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、子ども服は紙袋などに入れて持参していただき、紙袋ごと受け取りました。また、紙袋のまま一定期間保管した後、家庭ごみ事業課へ引き渡しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・2019年度はペットボトルの回収ボックスに入りきれないなどの課題がありましたが、2020年度は来館者数が減少したこともあり、そうした課題が減っています。回収の状況を注視しながら、必要に応じて今後の対応を検討していきます。

②不用品交換コミュニティボードの運営

2012年度までリサイクル交流センターが実施していた不用品交換コミュニティボードを引き継ぎ、センター内での掲示とインターネットでの掲載を行いました。また、近隣市で同様の仕組みを運営している施設の情報を、ホームページに掲載して紹介しました。

【「譲りたい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4月分	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
5月分	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
6月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
7月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
8月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
9月分	3件	3件	2件	0件	0件	0件	1件
10月分	1件	0件	1件	0件	0件	0件	0件
11月分	1件	1件	0件	0件	0件	0件	0件
12月分	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
1月分	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
2月分	12件	11件	0件	0件	1件	0件	1件
3月分	12件	1件	3件	0件	1件	1件	0件
年度通算	17件	16件	6件	1件	2件	1件	0件

※2019年度から繰り越した掲出1件、2021年度へ繰り越した掲出7件

【「譲ってほしい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4月分	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
5月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
6月分	3件	3件	0件	0件	0件	0件	0件
7月分	3件	0件	1件	0件	0件	1件	0件
8月分	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
9月分	2件	0件	0件	2件	0件	0件	0件
10月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
11月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
12月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
1月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
2月分	3件	3件	0件	0件	0件	0件	0件
3月分	3件	0件	0件	0件	0件	1件	0件
年度通算	7件	6件	1件	3件	0件	2件	0件

※2019年度から繰り越した掲出1件、2021年度へ繰り越した掲出3件



＜成果や工夫したこと＞

- ・メールや FAX でも応募ができ、インターネット上でも掲載をしていることから、臨時休館中でも継続できた取組みの1つでした。
- ・2019年度に引き続き、2月の広報とよなかに紹介記事を掲載しました。この記事を見ての応募が急増し、2月の1か月間だけで年間の受付件数の半数以上を占めました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・受付件数の減少が続いており、特に譲ってほしいが初めて一桁台となりました。広報の強化も必要ですが、一方でこの取組みの必要性の検討も考えられます。
- ・広報とよなかへの掲載により応募が急増したことから、2021年度も広報とよなかへの掲載を行っていきます。
- ・家庭で長年飾られてきた人形類を応募したいという問合せが多いものの、それらをほしいというニーズは極めて低いため、そもそもマッチングが難しいケースがあります。応募できる条件や注意事項などを工夫していくことも考えられます。

○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していませんでしたが、家庭ごみ事業課や事業者と連携して、回収や配布の取組みを行いました。

1月13日（水） ～26日（火）	カレンダーの無料配布 豊中市小売商業団体連合会ほか提供のカレンダー 約110点を配布
---------------------	---

4. 施設の利用状況

センターの年間の来場者数は9,822人で、2019年度の18,354人から半分近くまで減少しました。新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館、行事の中止、展示スペースの利用中止、貸室の利用制限などによる影響によるものであり、それがなければ12,000人という目標値は確実に達成できたと見込まれます。

会議室等の稼働率は、実績値であれば2019年度の66.3%から65.0%へと微減しました。内訳を見ると、会議室1(60.0%→65.0%)・会議室2(56.6%→58.3%)・展示スペース(82.4%→71.7%)となっており、会議室は向上しましたが、展示スペースは減少しました。当団体による会議利用などはオンラインが増加し、来館者数は少ないものの会議室は稼働している状態と言えます。

なお、施設が開館していた6～3月で、新型コロナウイルス感染症の影響により、予約・仮予約されていた利用が取りやめになった分も「利用があった」ともと仮定して算出すると66.5%となり、最高評価サービス水準の66%を達成したと見込まれます。

会議室等の申込状況と利用件数は、申込状況は横ばいでしたが、利用件数は減少しました(申込状況458件→451件、利用件数422件→388件)。利用件数の減少は、臨時休館によるものであり、1か月平均の利用件数は2019年度から横ばいとなっています。

①来場者数

単位：人	一般	会議室等利用		合計	(参考) 昨年度
		環境目的	環境目的以外		
4月	0人	4人	0人	4人	1,489人
5月	0人	8人	0人	8人	1,521人
6月	532人	248人	23人	803人	1,818人
7月	465人	289人	16人	770人	1,616人
8月	584人	357人	20人	961人	1,925人
9月	592人	392人	13人	997人	1,634人
10月	728人	417人	16人	1,161人	1,740人
11月	529人	1,079人	20人	1,628人	1,638人
12月	614人	309人	48人	971人	1,583人
1月	457人	175人	12人	644人	1,560人
2月	512人	280人	47人	839人	1,617人
3月	552人	459人	25人	1,036人	213人
年度通算	5,565人	4,017人	240人	9,822人	18,354人

※4・5月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館

②会議室等の稼働率

<実績値>

	会議室 1	会議室 2	展示 スペース	施設全体	(参考) 前年同月
4月	—	—	—	—	38.5%
5月	—	—	—	—	65.4%
6月	60.0%	68.0%	72.0%	66.7%	79.5%
7月	55.6%	51.9%	81.5%	63.0%	67.9%
8月	57.7%	42.3%	53.8%	51.3%	61.7%
9月	65.4%	53.8%	88.5%	69.2%	61.3%
10月	85.2%	74.1%	92.6%	84.0%	72.8%
11月	76.0%	64.0%	100.0%	80.0%	82.1%
12月	66.7%	54.2%	20.8%	47.2%	70.8%
1月	50.0%	54.2%	79.2%	61.1%	69.4%
2月	50.0%	58.3%	41.7%	50.0%	66.7%
3月	80.8%	61.5%	80.8%	74.4%	42.9%
年度通算	65.0%	58.3%	71.7%	65.0%	66.3%

※4月1日～5月31日は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、6月～3月までの値
5月19日～31日の条件付き貸室利用については上記に含んでいない

<推計値>

	会議室 1	会議室 2	展示 スペース	施設全体	推計
4月	30.8%	42.3%	88.5%	53.8%	あり
5月	40.7%	48.1%	18.5%	35.8%	あり
6月	68.0%	72.0%	80.0%	73.3%	あり
7月	55.6%	51.9%	81.5%	63.0%	
8月	57.7%	42.3%	53.8%	51.3%	
9月	65.4%	53.8%	88.5%	69.2%	
10月	85.2%	74.1%	92.6%	84.0%	
11月	76.0%	64.0%	100.0%	80.0%	
12月	66.7%	54.2%	20.8%	47.2%	
1月	66.7%	58.3%	79.2%	68.1%	あり
2月	50.0%	66.7%	41.7%	52.8%	あり
3月	80.8%	61.5%	80.8%	74.4%	
4月～3月	61.9%	57.3%	69.1%	62.8%	
6月～3月	67.3%	59.8%	72.4%	66.5%	

※緊急事態宣言発令中の前後も含めた4～6月、1～2月の利用は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予約・仮予約されていた利用が取りやめになった分も「利用があった」ものと仮定して算出
(4・5月は条件付き利用+取りやめ分、6・1・2月は実績値+取りやめ分)

※合計は臨時休館していた4・5月を含んだものと除いたもののそれぞれを記載

③会議室等の申込状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	2	4	65	44	31	52	53	32	38	39	32	59	451件
貸室	2	4	64	43	30	51	52	32	37	39	31	58	443件
指定	2	2	25	14	8	12	16	4	10	6	16	25	140件
自主	0	0	0	2	0	4	4	9	2	5	0	1	27件
環境	0	2	32	23	17	32	28	12	21	21	11	28	227件
環境外	0	0	7	4	5	3	4	7	4	7	4	4	49件
備品	0	0	19	13	14	20	17	10	17	11	10	15	146件
指定	0	0	4	5	6	4	3	3	6	3	5	10	49件
自主	0	0	0	2	0	4	4	5	2	3	0	0	20件
環境	0	0	15	6	8	12	10	1	9	5	4	5	75件
環境外	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2件
キャンセル	9	3	3	3	3	3	1	2	3	6	3	3	42件

※合計は、備品などの追加手続きも含んだ承認の件数

※キャンセルのうち、使用料の還付請求は1件

※福祉会館の利用団体への措置としての利用実績なし（実施期間：2021年3月31日まで）

④会議室等の利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	2	3	40	36	33	37	52	36	38	31	33	47	388件
貸室	2	3	40	36	33	37	52	36	38	31	33	47	388件
指定	2	2	18	17	10	10	11	8	12	8	14	23	135件
自主	0	0	0	1	0	2	5	6	5	4	1	2	26件
環境	0	1	18	14	18	22	32	18	16	17	12	19	187件
環境外	0	0	4	4	5	3	4	4	5	2	6	3	40件
備品	0	0	8	10	10	14	18	15	9	9	8	18	119件
指定	0	0	3	5	6	4	3	3	5	3	4	11	47件
自主	0	0	0	1	0	2	5	6	1	2	1	1	19件
環境	0	0	5	4	4	8	10	6	2	4	3	5	51件
環境外	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2件

※追加手続きの有無に関わらず、1件とカウント

※福祉会館の利用団体への措置としての利用実績なし（実施期間：2021年3月31日まで）

⑤使用料（利用料金）の収入の状況

月	合計		納付分		庁内振替	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	7	8,100	7	8,100	0	0
7月	4	4,400	4	4,400	0	0
8月	4	4,500	3	3,300	1	1,200
9月	4	4,400	4	4,400	0	0
10月	4	4,500	4	4,500	0	0
11月	7	9,100	6	7,900	1	1,200
12月	4	4,400	4	4,400	0	0
1月	7	9,600	6	8,400	1	1,200
2月	4	5,300	4	5,300	0	0
3月	4	4,400	4	4,400	0	0
合計	49	58,700	46	55,100	3	3,600

※還付3件（申込6件分・6,400円）があったため、2020年度の決算額は52,300円

⑥施設外での実施に伴う参加者数

内容	参加者数	備考
身近な生き物調査	72人	報告会・調査活動など（センター外での実施分のみ）
自然観察会	115人	3回
自然学習講座	26人	2回
自然ふしぎ発見クラブ	137人	4回（センター外での実施分のみ）
自然環境の保全活動	30人	2回
ぴったんこ隊 mini	19人	1回（センター外での実施分のみ）
合計	399人	

※内容はすべて「3. 管理運営業務の実施状況」に記載

※ここでの参加者数とは、センター内で実施したと仮定したら来場者数にカウントされる人数を意味しているため、スタッフ数も含んでいる。

5. 管理運営業務に係る経費の収支状況

2020年度 豊中市立環境交流センター指定管理業務 収支決算書

2020年4月1日～2021年3月31日

(単位:円)

収入						
項目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
指定管理委託料	15,895,000					
事業収入	151,966	11,300	0	60,600	0	80,066
収入合計	16,046,966					
支出						
科目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
人件費						
賃金手当	9,582,344					
通勤交通費	193,800					
法定福利費	1,675,223					
退職金共済制度掛金	315,000					
福利厚生費	30,069					
職員研修参加費	6,000					
賃金振込手数料	27,280					
人件費計	11,829,716					
事業費						
外注費	1,386,032	0	0	0	0	1,386,032
備品費	0	0	0	0	0	0
図書費	28,807	0	28,807	0	0	0
印刷費	190,159	4,945	52,720	30,655	140	101,699
通信運搬費	372,828	80,334	3,595	4,456	2,421	282,022
消耗品費	443,594	15,128	20,808	34,835	5,000	367,823
旅費交通費	99,860	10,100	51,400	34,760	3,600	0
諸謝金	384,750	31,000	0	353,750	0	0
保険料	17,460	0	2,400	9,330	0	5,730
賃借料	364,764	0	0	0	0	364,764
光熱水費	949,148	0	0	0	0	949,148
租税公課	6,400	0	0	0	0	6,400
雑費	32,509	9,498	152	15,864	0	6,995
事業費計	4,276,311	151,005	159,882	483,650	11,161	3,470,613
支出小計	16,106,027					
消費税及び地方消費税	729,408					
収支差額	△788,469					

(参考) 施設管理の費用内訳

内容	科目	金額	備考
電話代	通信運搬費	163,075	
阪急緊急用専用回線使用料	通信運搬費	33,064	
インターネット利用料	通信運搬費	84,920	プロバイダ、ドメイン
郵便代	通信運搬費	963	
リース代	賃借料	364,764	複合機、大型プリンター、紙折機 印刷機（再リース）
コピー代	印刷費	101,699	
消耗品（全般）	消耗品費	138,912	
消耗品（新型コロナ対策）	消耗品	228,911	飛沫防止スクリーン マスク、フェイスシールドなど
修繕費用	外注費	266,200	雨漏り修繕 飛散防止フィルム貼り換え工事 会議室 LAN 受口修理
その他の修理	外注費	46,431	印刷機修理、紙折機修理
電気代	光熱水費	916,116	
水道代	光熱水費	33,032	
保険	保険代	5,730	賠償責任保険
印紙代等	租税公課	6,400	印紙代
自転車処分代	雑費	1,000	
清掃委託	外注費	338,360	
ごみ処理委託	外注費	22,241	
機械警備委託	外注費	211,200	
消防用設備保守点検	外注費	66,000	
空調設備保守点検	外注費	319,000	
自動扉保守点検	外注費	116,600	
振込手数料（外注費他）	雑費	5,995	
合計		3,470,613	

6. 自主事業の実施状況

(1) 施設の活用や事業への参加

① 飲食物の販売

来場者が気軽に利用できるように、希望者に対して飲料やおやつなどを有料で提供しました。また、この飲食物の提供を通して、食べ物や飲み物といった身近なものから環境について考えてもらう機会としました。

飲料は環境に配慮したリユースびんの冷たいものと、リユースカップを利用したセルフサービスの温かいものとし、コーヒーと紅茶は有機栽培フェアトレードのものを提供しました。おやつは豊中市小売商業団体連合会や豊中市内の福祉作業所と連携し、豊中のお店の商品や添加物の少ないものなどを提供しました。

② 常設での物品販売

当団体は地球環境を守るとよなか市民行動計画「豊中アジェンダ 21」を推進する活動に取り組んでおり、活動に関連する物品をセンターで希望者に常設販売しました。具体的には、竹炭・竹酢液・竹製品、とよっぴー、とよっぴーで育てた豊中産の野菜（不定期）、機密書類リサイクルのトイレットペーパー、各種冊子などで、これらの販売を通して「豊中アジェンダ 21」の普及・促進に努めました。

また、来場者の利便性向上に資する物品についても、希望者に常設販売しました。具体的には、布ナプキン、エコたわしなどで、これらは地域の団体と連携し、各団体が作ったものを取り扱いました。

③ 物品の回収

リユース・リサイクルの一環として、使用済み切手・未使用切手などについて、センターで回収しました。回収した物品は他への売却等を行い、売却費用は「豊中アジェンダ 21」の普及・促進に活用していますが、2020年度は売却等を行いませんでした。

④ リユースバザーへの参加

指定管理事業として実施するリユースバザーに、当団体としても出店しています。当団体では、会員の家庭で使わなくなった衣服や生活用品を集めて安く販売することで、指定管理者の組織としてもリユースに努めています。2020年度はリユースバザーの開催がなかったため、出店はありませんでした。

⑤ 地域こだわりマルシェ&野菜市場への参加

指定管理事業として実施する地域こだわりマルシェ&野菜市場に当団体として出店し、とよっぴーで育てた豊中産の野菜や、竹炭・竹酢液・竹製品などを販売しました。販売時に購入者との交流を通して、地産地消および循環型社会の推進に努めました。なお、2020年度は地域こだわりマルシェ&野菜市場が9回行われましたが、会員が中心となり、すべての開催で出店しました。

(2) 全体活動

① 学習会の開催

2018年度に「第3次豊中アジェンダ 21」が策定されたことにあわせて、同計画に書かれた取り組みの展開や推進組織の発展について、外部の専門家を講師に招き、学習会の開催を計画に盛り込んでいましたが、実施に至りませんでした。

②環境展の展示

当団体が主催する「とよなか市民環境展」について、例年は豊島体育館を会場としていますが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場をセンターと萩の寺公園に変更して開催しました。11月27日（金）～29日（日）の3日間開催し、出展団体やスタッフをあわせて691人の参加がありました。

また、開催に先立って、センター周辺の住宅へチラシ等のポスティングを行ったことで、センターのPRにもつながりました。

③関西大学との連携

関西大学が健康と環境の好循環の政策をめざして実施する研究の一環として、2019年度から関西大学が環境省の研究費を獲得されたことを受けて、豊中市内で当団体と協働して夏のライフスタイル調査やワークショップを実施しました。センターでは、熱中症対策ガイドブックを利用したモニターなどを対象としたワークショップの会場（計3日間）として利用しました。

（3）部会・プロジェクト活動

①学習会【生活部会】

地球温暖化防止活動の一環として、自宅で災害対策にも役立つ小規模の太陽光発電設備の導入（じぶん発電所づくり）に向けた、じぶん発電所づくりに関する入門講座を開催しました。

②展示「エコライフカレンダー活動20年の軌道」【生活部会】

2000年から約20年間に渡って取組みを行ってきたエコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）活動について、活動の区切りとしてエコライフカレンダーの発行やまとめ作業を終えたことから、これまでの活動を振り返る展示を行いました。約2週間の展示期間中に展示のアンケートも行い、見学者から協力を得ました。

③学習会【事業部会・交通部会】

事業部会において事業者を主な対象とし、「未来からのアプローチ！SDGs」と題した学習会を開催しました。なお、センターを会場とした参加と、オンラインによる参加の両方ができるようにしました。

④事業者の交流会【事業部会】

当団体の発行するニュースレターにて、豊中市内で活躍する事業者を取材・紹介しており、そうした事業所などを集めて、情報交換と交流会を開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより実施に至りませんでした。

⑤写真で元気【企画屋本舗】

まちや自然といった環境に関する写真を撮り、各自のアルバム作りを通して、自分自身や環境について見つけ・発見していく場作りの講座です。センターを会場とした開催を1回予定しましたが、参加者が集まらなかったため、実施に至りませんでした。

⑥わいわいクラブ【企画屋本舗】

地球温暖化防止や省資源・循環型社会の推進の一環として、市民が気軽に参加・体験できる場を「わいわいクラブ」として開催しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施に至りませんでした。

⑦ペットボトルでかんたん my 米づくり【花と緑のネットワーク】

6月に一定期間を設けて、センターの来場者へ参加を募り、その場で希望者に材料を渡して、自宅でペットボトルを使った米づくりを体験してもらいました。参加者は各自で10月頃にできた実を外し、もみをすり鉢でこすって玄米にし、炊飯器で白米と一緒に炊いて、試食することができます。

⑧「市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業」の実施【地球温暖化対策プロジェクト】

豊中市からの委託事業「豊中市市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業」の一部について、センターを利用して実施しました。2020年度は、エコドライブキャンペーンの一環である「エコドライブ講習会」(2回)、環境学習につながる講座(6回)などを行いました。

7. 自主事業の経費の収支状況

2020年度活動決算書（自主事業分のみ）

2020年4月1日～2021年3月31日

(単位：円)

経常収益		
科目	金額	備考
受取寄付金	50,128	
受取助成金	143,225	
受取負担金	1,058,000	該当分のみ
受託事業	138,000	該当分のみ
事業収益	117,268	販売収入・参加費等
雑収入	0	
堆肥頒布受任	88,200	
経常収益計	1,594,821	
経常費用		
科目	金額	備考
人件費		
賃金手当	209,717	自主事業充当分
人件費計	209,717	
事業費		
外注費	1,443,200	
備品費	0	
図書費	0	
印刷費	173,910	
通信運搬費	43,746	
消耗品費	69,430	
旅費交通費	85,670	
諸謝金	200,705	
保険料	13,200	
賃借料	2,068	
租税公課	3,506	自主事業該当分の消費税等
雑費	46,888	
堆肥頒布受任	80,182	
事業費計	2,162,505	
経常費用計	2,372,222	
差引	△777,401	